

苫小牧民報

7月17日 金曜日

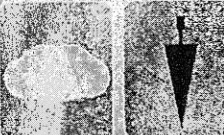
発行所 苫小牧民報社 〒053-8611 苫小牧市若草町3丁目1番8号 代表電話 0144(32)5311 月決め購読料(税込み)2,440円(1部120円)

内科、糖尿病、代謝内科、内分泌内科、アレルギー科、リウマチ科



1945
OKI MEDICAL CLINIC
医療法人社団 保生会 沖 医院
苫小牧市旭町4-15 TEL 32-8870

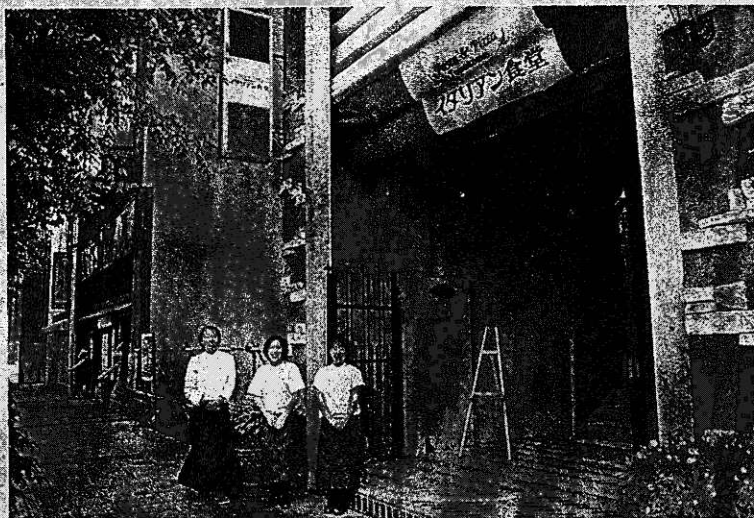
あすの苫小牧



9時 15時

白老漁港、毛ガニ漁が解禁 2
 来年1月札幌モーターショー 4
 苫地区の高校剣士たち活躍 12
 苫小牧、58歳男性刺され死亡 19

苫小牧市中心街、空き店舗の利用進む



苫小牧市の中心街で空き店舗の利用が進んでいる。2014年4月時点で、JR苫小牧駅前通り周辺に20カ所あった空き店舗は現在、3カ所まで減った。昨年の苫小牧駅前プラザe.g.o(エガオ)閉店に伴うテナントの移転、開業も一因だが空き店舗への出店は今年に入っても続いている。出店者たちは長年、市民に親しまれてきた商店街のにぎわい再生へ意気軒高だ。

出店者にぎわい再生へ意気軒高

この1年余りで空き店舗が急速に減った要因の一つには、エガオの閉店がある。昨年8月末のエガオビル閉鎖までテナントが次々と駅前通り周辺に移転し、婦人服や化粧品などが店を構えた。同じ時期には、飲食店や住宅リフォーム店などの新規出店も相次いだ。

こうした状況の中、市の空き店舗活用事業補助金の利用件数は2011年度が8件、12年度と13年度はそれぞれ4件だった。14年度は15件に急増。今年度も17日現在で、1件の申請がある。

大型店の郊外進出などで消費者離れが進み、シャッターを下ろす店が目立っていた駅前本通でにわかに開業が活発化している。

駅前通りに商機あり

そろえ、外国人観光客などにもアピールしたい」と意気込む。

今月2日には、表町3の子不動産第2ビル1階にブランドものから健康重視の商品まで約100種類を取りそろえた婦人靴店「夢の靴」がオープン。市内の靴販売店に長年勤めた三輪猛彦代表が経験を生かし、地域に根差した店

金融、労働、報道関係者と意見交換 東胆振の自治体

東胆振1市4町(苫小牧、白老、厚真、安平、むかわ)が人口減少対策の一環で取り組む地方版総合戦略策定に当たって各自治体が金融、労働、報道の各分野から提言を受け「意見交換会」が16日、苫小牧市文化会館で開かれた。

市民の半数「芸術鑑賞の場」

苫小牧市民会館建設に向けアンケート「利用している」は約4割

770人から回答

苫小牧市は、新しい市民会館の建設に向けて実施した市民アンケート結果の一部を公表した。回答した770人のうち約5割が市民会館を芸術文化活動の「鑑賞の場」と捉え、「発表の場」と答えた人は2割にとどまった。

アンケートは3～4月、無作為抽出した市民2500人を対象に実施し、770人から回答を得た。

それによると、「よく利用する公共施設は(複数回答可)との問いに市民会館を挙げたのは189人(24.5%)。最多は中央図書館の278人(36.1%)で、次いでコミュニティセンターの212人(27.5%)が多かった。「ない」との回答も220人(28.6%)を占めた。

市民会館の役割と目的に関する問いでは芸術文化の「鑑賞の場」が369人(48.7%)、「発表の場」が142人(18.3%)、「サークル活動」が80人(10.6%)、「学術研究の場」が54人(7.1%)などとなっている。

一方、市民会館の利用状況について「利用している」は336人(43.6%)、「3年以上利用していない」が233人(30.3%)で、「利用したことがない」も146人(19.1%)に上った。

こうした結果に、老朽化した市民会館と周辺の公共施設を統合した「市民ホール」の新築について話し合う、苫小牧市民ホール建設検討委員会の委員は「目的が無くても立ち寄れるような施設づくりが必要」と指摘。市は「今後の議論に役立てたい」としている。

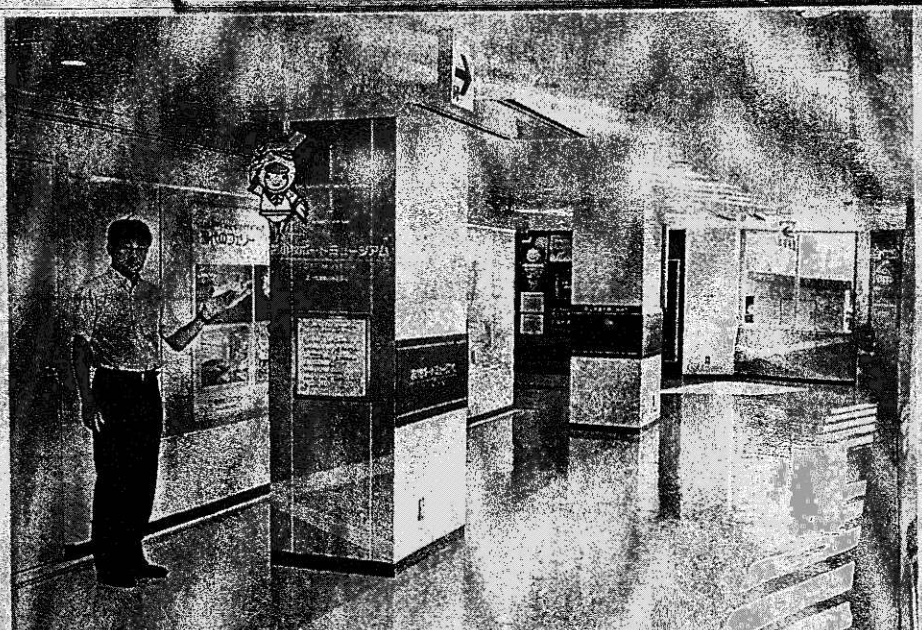
ポートミュージアムリニューアル

苫小牧西港フェリーターミナル

3階フロア 回廊型に

苫小牧港開発(石森亮社長)は17日、苫小牧西港フェリーターミナル(苫小牧市入船町)内の「ポートミュージアム」を一新した。ターミナル3階のフロアを歩きながら、苫小牧港の歴史などを紹介するパネルを見たり、屋外の風景を楽しんだりできる「回廊型」にした。

西港のジオラマやフェリー模型も展示したポートミュージアムは1990年、フロア3階の一室に開設された。今回は3階のエレベーターから



大幅にリニューアルしたポートミュージアム

展望デッキまでの35分の廊下を改装する形で、リニューアル。フェリーが停泊する外の様子を眺めながら、ターミナルの機能を体感できるようにした。今後については、苫小牧港と結ばれている道外の港や都市をPRする映像の上映などを検討している。

ミュージアムのリニューアルに合わせて、展望デッキにベ

ネパール